

愛知県がんセンター 中央病院・研究所 概要

平成26年度



基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

患者さんの権利

1. 誰でも良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

目 次

目 的	2
経 過	2
設置の根拠	2
施設の概要	3
所在地 土地・建物 中央病院 研究所	
組織と職員定数	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備	18
備品 附属施設	
病院業務	19
中央病院の特色等 外来診療経路 患者状況 患者給食実施状況等	
研究業務	27
研究所における部別研究課題 病院における課題別研究課題 共同研究課題等	
類似病院との比較	31
外来診療案内・入院案内	32

目 的

がんは、昭和56年に死亡原因の1位となり、その後も年々増加している。わが国におけるがんの対策は、諸外国と同様に、生活習慣病対策のなかで最も重要な国民的課題である。

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

経 過

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 7年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver4.0）
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver6.0）
平成22年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7月 1日	外来化学療法センター開設
平成26年 3月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新

設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置

現 在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

業務の内容

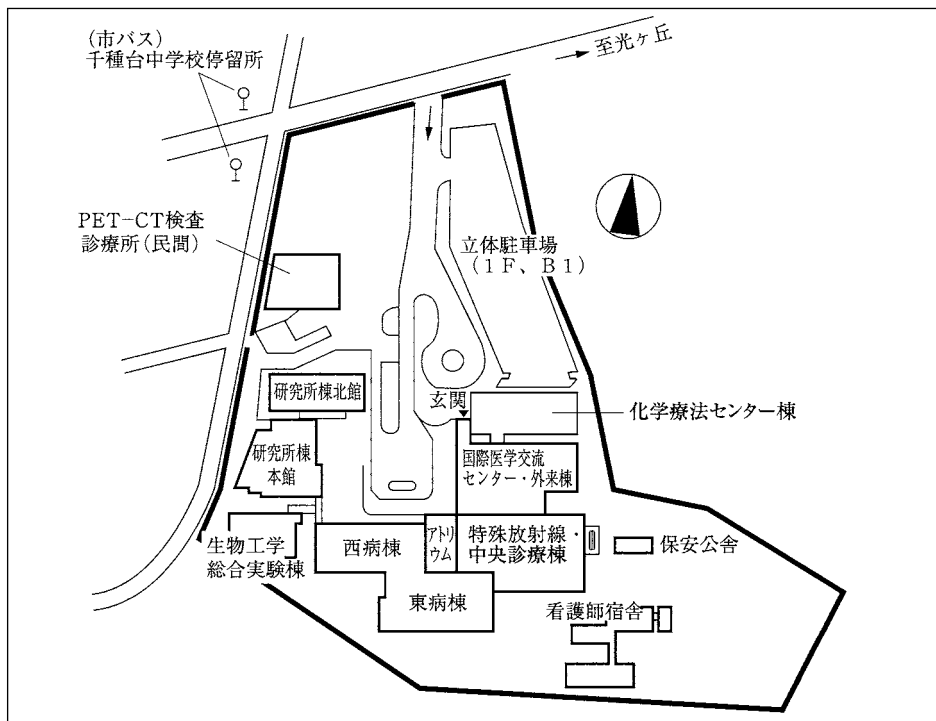
- ア 悪性新生物に関する診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての調査研究を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者・研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査研究を行う者に施設を利用させること

施設の概要

所在地

名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(平成26年4月1日現在)



土地・建物

(平成26年4月1日現在)

区分	構造・規模	延床面積	
土地		49,788.56 m ²	
建物	合計	73,155.46 m ²	
	病棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m ²
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m ²
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m ²
	化学療法センター棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m ²
	研究所棟本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m ²
	研究所棟北館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m ²
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m ²
	看護師宿舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟	3,352.33 m ²
	保安公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m ²
	立体駐車場	鉄筋コンクリート造2層建	6,526.47 m ²
	その他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	355.46 m ²

中央病院

(平成26年4月1日現在)

(東) 病 棟 (西)

		内 容	病床数	階別	内 容	病床数
		機械室		搭屋	機械室	
		特別病棟 (混合)	25床	9階	特別病棟 (混合)	25床
		特別病棟 (混合)	30床	8階	一般病棟 (放射線診断・IVR科、 放射線治療科、泌尿器科)	50床
		一般病棟 (消化器内科・消化器外科)	50床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)	50床
		一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)	50床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、 薬物療法科)	49床
空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床)	一般病棟 (頭頸部外科部、放 射線治療科) (46床)	50床	5階	一般病棟 (婦人科、乳腺科、 放射線治療科)	50床
手術部門、輸血部門		ICU病棟	21床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器 内科、薬物療法科)	50床
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門 (看護部)		3階	管理部門 (総長室、病院長室等)	
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門 (医局等)	
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門 (運用部等)	
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室	

(病床合計500床)

国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門 (一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター、薬剤部門 (薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター (メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門 (供給室等)、カルテ、フィルム庫

化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門 (ミキシング室等)

都道府県がん診療連携拠点病院

第3次対がん10か年総合戦略においては、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるがん医療の均てん化が戦略目標に掲げられている。

この目標達成のために国によって整備が進められることになったがん診療連携拠点病院について、当院は、平成19年1月31日付で県内1か所の指定である「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受け、県内の「地域がん診療拠点病院」及び、愛知県が指定する「愛知県がん診療拠点病院」の医療従事者に対する研修の実施、クリティカルパス（治療計画）の整備など、地域の医療連携体制の構築を通じて支援している。

その他、院内に地域医療連携・相談支援センターを設け、患者・家族からの相談支援、医療情報の提供を行っている。

また、平成26年4月からは緩和ケアセンターを開設し、緩和ケアチーム等と有機的連携を図りながら専門的な緩和ケアの提供を行っている。

外来化学療法センター

平成25年7月1日、待望の新外来化学療法センター棟が開設した。ベッド38床、チェア22台の計60床を有し、全国でも最大規模の病床数を誇っている。中庭を配置し、自然光が入る明るいフロアー、木の温もりあふれる空間を提供している。多くの治験、臨床試験も外来治療として施行し、副作用対応のための電話相談等も行い、きめ細やかな医療を提供している。

新しいセンターに移行し、年々増加傾向であった外来化学療法センターの利用患者総数は、平成25年度につき22,000件を超え、1日あたりの利用者数は92人となった。名実ともに日本のがん治療を担うleading hospitalの新たな顔となっている。



先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設置し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンター中央病院では、①「パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん（腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。）」、②「パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法 上皮性卵巣がん、卵巣がん又は原発性腹膜がん」、③「パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん（腹膜に転移しているもの、腹腔洗浄細胞診が陽性であるもの又はステージⅡ若しくはⅢであった肉眼型分類が3型（長径が8cm以上のものに限る。）若しくは4型であるものに限る。）」、④「術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）」、⑤「ペメトレキド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）」、⑥「術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法 閉経後のホルモン感受性の乳がん（長径が5cm以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移しておらず、かつ、エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）」の医療技術について提供している。

治験支援室・臨床試験室

当院は、がん専門病院としては全国トップクラスの治験の実績を持っている。臨床試験部治験支援室では、製薬企業からの依頼を受けて新薬開発のための治験や製造販売後臨床試験、また医師が中心となって行う医師主導治験の支援を行っている。また、同部臨床試験室では、治験以外のさまざまな臨床試験の支援を行っている。

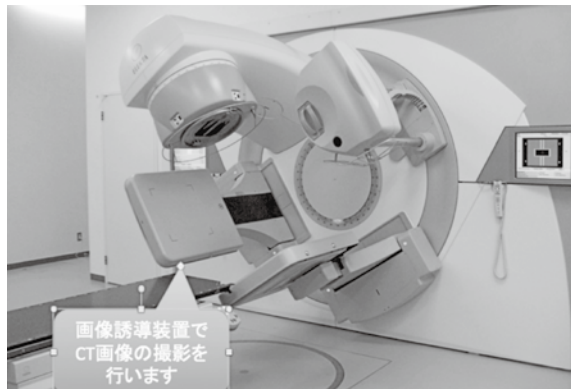
トモセラピー（Tomotherapy）

平成18年6月から稼働の放射線治療装置Tomotherapyは強度変調放射線治療（IMRT）専用機として開発された。IMRTとは小さな鉛ブロックの開閉で照射野内の線量に強弱をつけ、かつ全周方向から照射・合成することで高精度な放射線分布を作る方法である。本装置は小型の放射線発生装置（ライナック）を内蔵し、ヘリカルCT方式で治療ベッドを移動しながらスライス状ビームで治療する。



シナジー（Synergy）

平成24年7月に稼働したIMRTや定位治療などの高精度放射線治療に加え、従来の一般的な放射線治療も行える装置。治療直前にCT画像を撮影して正確に位置合わせを行い治療することができる。IMRTの需要が年々増加する中で、トモセラピーのみでは年間150人の治療が限度であったが、本装置の稼働によって年間のIMRTの治療人数をおよそ三割増加させることができた。



ネットワーク接続施設

国立がんセンター中央病院を核として、国立8病院と、愛知県がんセンターを始め全国の自治体設立15施設の計23施設をネットワークで結び、各施設間での臨床情報、研究情報及び学術情報の共有化を図るとともに、相互の情報交換によりがん診療や治療技術、研究の向上を図る目的で運営されている。

なお、地方自治体設立のがんセンターとしては、愛知県がんセンターが全国にさがかけてネットワークの一員となっている。

研究所

(平成26年4月1日現在)

研究所棟本館

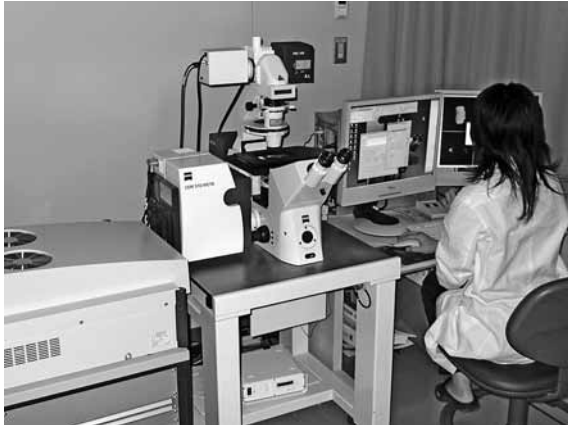
生物工学総合実験棟		フロア	南	北	研究所棟北館
		6階	電気室	空調機械スペース	
5階	腫瘍医化学部	疫学・予防部/中央実験室			
4階	腫瘍免疫学部	感染腫瘍学部		空調機械スペース	
3階	腫瘍病理学部	分子病態学部		研究所長室 セミナー室等、疫学・予防部	
2階	遺伝子医療研究部	分子腫瘍学部		図書室 共同機器室等	
1階	共同機器室/管理室	臨床研究室		運用部電算機室 保育所 他	
地階	熱源機械室	洗浄作業室など		電気室 その他	

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階（一部6階）、総床面積7,113㎡である。通常動物舎および発生工学動物飼育実験室が設置され、病原菌感染のない環境下で免疫能の低い特殊なマウスを用いた発がん・制がんの実験や、遺伝子改変動物の飼育と遺伝子機能解明のための実験が行われている。1階には管理室や共同機器室が置かれ、2階から5階には8部門の実験室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、疫学・予防部のほか図書室、電算機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物工学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。2階と3階の大部分はRI管理区域に指定されている。





共焦点レーザー顕微鏡

共焦点レーザー顕微鏡

レーザー光を対物レンズに通して試料に当てて蛍光を発生させ、焦点での蛍光だけを検出できる高性能蛍光顕微鏡である。従来の蛍光顕微鏡に比べて、はるかに高い分解能の断層像が観察でき、連続した断層画像から三次元画像の構築も可能となる。

質量分析装置

分子量が数百から数万までの分子をパルス・レーザー光でイオン化（MALDI方式）させ、その飛行時間から質量を精密に測定する装置である。本装置を液体クロマトグラフィーと連結して解析に用いることにより、タンパク質・糖鎖・脂質等の網羅的で迅速な精密分析が高感度で可能になる。



質量分析装置



フローサイトメーター

フローサイトメーター（3台）

細胞が作っているタンパク質の種類と量を蛍光標識した抗体などを用いて鋭敏に検出する機器。がん細胞、あるいはがん細胞を攻撃する免疫細胞の特性などを明らかにする研究を進めている。

蛍光実体顕微鏡

動物実験において、蛍光標識した腫瘍細胞等を、実験動物ごとあるいは臓器ごと観察、定量する機器。腫瘍の臓器分布、臓器内分布を実体顕微鏡下で観察出来る。転移・浸潤の研究に必須の機器である。



蛍光実体顕微鏡

組織と職員定数

組 織 (平成26年4月1日現在)



役職者一覧表

(平成26年4月1日現在)

役職名			氏名			備考				
総	長		木下平							
	運用部	運用部長	後藤輝夫							
		経営戦略室長	辻幹司							
		管理課長	池端淳一							
	中 央 病 院	院長		篠田雅幸						
		副院長	副院長		丹羽康正					
					長谷川泰久					
					岩田広治					
					高木仁美					
		消化器内科部長		山雄健次						
		内視鏡部長		丹羽康正		副院長(兼)				
		呼吸器内科部長		樋田豊明						
		血液・細胞療法部長		木下朝博						
		薬物療法部長		室圭						
		臨床検査部長		谷田部恭		遺伝子病理診断部長(兼)				
		遺伝子病理診断部長		谷田部恭						
		輸血部長		木下朝博		血液・細胞療法部長(兼)				
		頭頸部外科部長		長谷川泰久		副院長(兼)				
		形成外科部長		兵藤伊久夫						
		呼吸器外科部長		坂尾幸則						
乳腺科部長		岩田広治		副院長(兼)						
消化器外科部長		清水泰博								
整形外科部長		杉浦英志								
リハビリテーション部長		杉浦英志		整形外科部長(兼)						
泌尿器科部長		林宣男								
婦人科部長		中西透								
中 央 病 院	麻酔科部長		仲田純也							
	集中治療部長		波多野潔		循環器科部長(兼)					
	放射線診断・IVR部長		稲葉吉隆							
	放射線治療部長		古平毅							
	外来部長		堀尾芳嗣							
	手術部長		伊藤誠二							
	循環器科部長		波多野潔							
	緩和ケア部長		小森康永							
	看護部長		高木仁美		副院長(兼)					
	薬剤部長		水谷旭良							
	栄養管理部長		丹羽康正		副院長(兼)					
	医療安全管理部長		長谷川泰久		副院長(兼)					
	臨床試験部長		山本一仁							
	医療情報管理部長		岩田広治		副院長(兼)					
	外来化学療法センター長		室圭		薬物療法部長(兼)					
	地域医療連携・相談支援センター長		堀尾芳嗣		外来部長(兼)					
	緩和ケアセンター長		小森康永		緩和ケア部長(兼)					
研 究 所	研究所長		木下平		事務取扱					
	副所長		関戸好孝							
	疫学・予防部長		田中英夫							
	腫瘍病理学部長		近藤英作							
	分子腫瘍学部長		関戸好孝		副所長(兼)					
	遺伝子医療研究部長		欠							
	腫瘍免疫学部長		葛島清隆							
	感染腫瘍学部長		欠							
	分子病態学部長		青木正博							
	腫瘍医化学部長		稲垣昌樹							

職種別・職員定員一覧表

(平成26年4月1日現在)

職種別	部門別	総数	運用部	病院	研究所
総	数	680	27	602	51
事	務	29	26	3	
医療社会事業員		1		1	
医	師	119	1	88	30
歯科医	師	1		1	
理学士・研究員		12			12
診療放射線技師		25		25	
理学療法士		2		2	
薬剤師		25		25	
臨床検査技師		29		29	
臨床工学技士		2		2	
看護	師	396		396	
看護	助手	3		3	
栄養	士	3		3	
その他給食関係職員		16		16	
臨床試験コーディネーター		8		8	
研究	補助	9			9

管理業務

会計予算

(収益的收入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		25年度 当初予算	26年度 当初予算
(事業収益)		17,994,110	19,343,047
医 業 収 益		16,282,849	16,854,776
	入 院 収 益	8,672,400	9,096,384
	外 来 収 益	5,457,060	5,605,574
	一般会計負担金	1,096,787	986,859
	その他医業収益	1,056,602	1,165,959
医 業 外 収 益		1,711,261	2,488,271
	受取利息配当金	290	230
	一般会計負担金	1,357,139	1,384,504
	国庫補助金	16,488	16,381
	長期前受金戻入	0	706,262
	その他医業外収益	337,344	380,894
特 別 利 益	特 別 利 益	0	0
(事業費用)		17,336,398	21,341,072
医 業 費 用		17,143,930	17,433,703
	給 与 費	7,519,787	8,000,648
	材 料 費	5,943,822	5,559,028
	経 費	2,396,512	2,260,553
	減価償却費	748,255	1,121,109
	資産減耗費	48,299	45,403
	研究研修費	487,255	446,962
医 業 外 費 用		187,468	198,393
	支払利息・企債諸費	116,684	100,840
	長期前払消費税償却	35,875	29,853
	雑 損 失	2	2
	消費税及び地方消費税	34,907	67,698
特 別 損 失		0	3,703,976
予 備 費	予 備 費	5,000	5,000
差 引 損 益		657,712	△ 1,998,025

(資本的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		25年度 当初予算	26年度 当初予算
(資本的収入)		995,891	1,147,783
企業債	企業債	497,000	688,000
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計出資金	一般会計出資金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	445,734	439,783
雑収入	雑収入	53,157	20,000
(資本的支出)		1,673,541	1,935,025
建設改良費		157,190	94,850
	建設費	33,518	0
	改良費	123,672	94,850
資産購入費		655,559	984,539
	医療器械購入費	655,459	651,711
	備品購入費	100	100
	リース債務費	0	332,728
企業債償還金	企業債償還金	860,792	855,636
収 支		△677,650	△787,242

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

経営状況

(単位 千円)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
収入	14,899,595	16,184,062	16,429,887	16,666,489	16,318,503	
内 訳	入院収益	7,138,036	7,805,576	7,700,007	8,163,112	7,946,933
	外来収益	4,205,727	4,130,729	4,427,626	4,656,661	4,947,789
	一般会計負担金	2,522,624	2,701,066	2,761,264	2,533,100	2,453,926
	その他	1,033,208	1,546,691	1,540,990	1,313,616	969,855
支出	14,348,315	15,114,357	15,420,224	15,884,759	15,978,366	
内 訳	給与費	6,570,234	7,131,720	7,434,894	7,546,630	7,071,530
	その他	7,778,081	7,982,637	7,985,330	8,338,129	8,906,836
差引損益	551,280	1,069,705	1,009,663	781,730	340,137	
実質損益	△1,971,344	△1,631,361	△1,751,601	△1,751,370	△2,113,789	

(注1) 実質損益は一般会計負担金の投入がなかったと仮定した場合の損益をいう。

(注2) 税抜き

がん患者状況（院内登録）

年次別・部位別がん患者数(男女計) 1964-2012

がんの部位 区分(ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82, C84, C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年 (1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年 (1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	4	19	119
昭和41年 (1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	6	17	119
昭和42年 (1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	4	12	119
昭和43年 (1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	9	20	109
昭和44年 (1969)	1,571	42	488	20	68	21	131	120	203	286	19	22	9	10	132
昭和45年 (1970)	1,567	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	7	23	129
昭和46年 (1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	10	12	150
昭和47年 (1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	6	17	138
昭和48年 (1973)	1,497	41	390	32	73	28	116	132	191	284	12	26	14	13	145
昭和49年 (1974)	1,364	54	348	36	61	9	113	121	224	222	14	25	6	9	122
昭和50年 (1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	5	19	143
昭和51年 (1976)	1,326	39	352	32	92	25	66	119	202	236	12	18	11	2	120
昭和52年 (1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	7	15	135
昭和53年 (1978)	1,391	53	345	42	74	15	69	133	231	212	15	24	8	9	161
昭和54年 (1979)	1,358	36	336	53	49	28	82	132	241	197	12	21	34	9	128
昭和55年 (1980)	1,377	45	334	55	71	23	68	136	289	164	15	26	31	15	105
昭和56年 (1981)	1,363	43	326	48	73	32	48	143	302	162	16	22	29	11	108
昭和57年 (1982)	1,332	34	295	49	69	26	68	151	316	170	9	14	27	13	91
昭和58年 (1983)	1,405	49	297	76	85	25	72	154	300	161	12	19	34	13	108
昭和59年 (1984)	1,362	41	306	72	67	27	63	139	331	134	6	15	29	16	116
昭和60年 (1985)	1,482	35	297	77	77	37	86	157	364	140	12	19	50	3	128
昭和61年 (1986)	1,396	37	311	54	74	43	67	134	326	149	8	22	52	6	113
昭和62年 (1987)	1,384	34	268	68	74	34	74	156	337	139	14	20	38	10	118
昭和63年 (1988)	1,421	39	275	105	57	28	81	167	348	147	6	18	40	11	99
平成元年 (1989)	1,261	32	272	64	54	32	86	151	269	141	7	28	32	10	83
平成2年 (1990)	1,280	39	246	82	72	45	96	125	243	151	8	30	39	7	97
平成3年 (1991)	1,262	39	217	99	68	39	64	134	276	168	6	22	34	9	87
平成4年 (1992)	1,344	46	224	84	64	32	94	169	275	175	8	38	30	6	99
平成5年 (1993)	1,464	48	261	125	74	62	88	184	300	143	10	26	39	8	96
平成6年 (1994)	1,469	62	264	100	84	42	94	180	298	152	24	23	45	3	98
平成7年 (1995)	1,463	46	249	111	74	49	113	178	287	106	57	24	36	1	132
平成8年 (1996)	1,462	51	202	96	66	49	124	200	290	106	74	29	32	7	136
平成9年 (1997)	1,598	43	235	110	67	60	144	219	307	129	61	23	24	9	167
平成10年 (1998)	1,684	56	250	120	68	67	134	246	296	144	68	30	31	11	163
平成11年 (1999)	1,810	66	245	101	84	64	141	277	364	116	73	30	29	11	209
平成12年 (2000)	1,812	65	252	113	63	55	168	275	309	136	74	27	38	13	224
平成13年 (2001)	1,922	114	242	122	94	58	158	291	326	153	71	44	38	10	201
平成14年 (2002)	2,049	106	257	134	110	61	198	314	314	141	88	44	40	10	232
平成15年 (2003)	2,085	113	242	150	110	54	201	305	293	144	116	43	46	7	261
平成16年 (2004)	2,162	130	270	131	108	61	203	297	295	174	115	52	41	7	278
平成17年 (2005)	2,223	139	286	147	147	73	206	317	296	143	102	36	42	5	284
平成18年 (2006)	2,192	146	304	144	155	55	193	307	285	117	156	43	53	5	229
平成19年 (2007)	2,359	152	295	154	152	61	178	332	329	152	138	50	57	5	304
平成20年 (2008)	2,451	138	343	158	151	35	155	294	406	186	154	52	27	11	341
平成21年 (2009)	2,832	155	307	161	157	77	252	383	425	259	221	52	34	15	334
平成22年 (2010)	2,975	178	342	187	162	94	224	410	450	239	224	50	33	12	370
平成23年 (2011)	2,417	140	247	138	123	49	214	330	441	187	208	51	30	11	248
平成24年 (2012)	2,944	207	345	169	176	62	263	343	497	217	185	48	26	8	398
合計	81,245	3,319	15,415	4,123	4,127	1,942	6,111	9,434	13,914	8,993	2,596	1,389	1,346	505	8,031

※平成8年までは、ICD9による集計

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964-2012

がんの部位 区分(ICD10)	がんの部位														
	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房 がん (C50)	子宮 がん (C53~C55 C58)	泌尿器 のがん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82, C84, C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年 (1964)	100.0	3.1	27.7	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年 (1965)	100.0	3.0	35.2	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	0.3	1.3	8.3
昭和41年 (1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	0.4	1.1	7.4
昭和42年 (1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	0.3	0.8	7.8
昭和43年 (1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.6	8.4	7.7	12.9	19.6	1.6	1.4	0.6	1.3	7.3
昭和44年 (1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.4	7.6	12.9	18.2	1.2	1.4	0.6	0.6	8.4
昭和45年 (1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	0.4	1.5	8.2
昭和46年 (1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	0.6	0.7	9.2
昭和47年 (1972)	100.0	2.8	25.7	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	17.9	1.2	1.2	0.4	1.0	8.3
昭和48年 (1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.7	8.8	12.8	19.0	0.8	1.7	0.9	0.9	9.7
昭和49年 (1974)	100.0	4.0	25.5	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.4	16.3	1.0	1.8	0.4	0.7	8.9
昭和50年 (1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	0.4	1.3	10.0
昭和51年 (1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	9.0	15.2	17.8	0.9	1.4	0.8	0.2	9.0
昭和52年 (1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	0.5	1.2	10.5
昭和53年 (1978)	100.0	3.8	24.8	3.0	5.3	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	0.6	0.6	11.6
昭和54年 (1979)	100.0	2.7	24.7	3.9	3.6	2.1	6.0	9.7	17.8	14.5	0.9	1.5	2.5	0.7	9.4
昭和55年 (1980)	100.0	3.3	24.3	4.0	5.1	1.7	4.9	9.9	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.1	7.6
昭和56年 (1981)	100.0	3.2	23.9	3.5	5.4	2.3	3.5	10.5	22.2	11.9	1.2	1.6	2.1	0.8	7.9
昭和57年 (1982)	100.0	2.6	22.1	3.7	5.2	2.0	5.1	11.3	23.7	12.8	0.7	1.0	2.0	1.0	6.8
昭和58年 (1983)	100.0	3.5	21.1	5.4	6.0	1.8	5.1	11.0	21.4	11.5	0.9	1.3	2.4	0.9	7.7
昭和59年 (1984)	100.0	3.0	22.5	5.3	4.9	2.0	4.6	10.2	24.3	9.8	0.5	1.1	2.1	1.2	8.5
昭和60年 (1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.2	2.5	5.8	10.6	24.6	9.4	0.8	1.3	3.4	0.2	8.6
昭和61年 (1986)	100.0	2.6	22.3	3.9	5.3	3.1	4.8	9.6	23.3	10.7	0.6	1.6	3.7	0.4	8.1
昭和62年 (1987)	100.0	2.5	19.4	4.9	5.4	2.5	5.4	11.3	24.3	10.0	1.0	1.4	2.7	0.7	8.5
昭和63年 (1988)	100.0	2.7	19.4	7.4	4.0	2.0	5.7	11.7	24.5	10.3	0.4	1.3	2.8	0.8	7.0
平成元年 (1989)	100.0	2.5	21.6	5.1	4.3	2.5	6.8	12.0	21.3	11.2	0.6	2.2	2.5	0.8	6.6
平成2年 (1990)	100.0	3.1	19.2	6.4	5.6	3.5	7.5	9.8	19.0	11.8	0.6	2.3	3.1	0.5	7.6
平成3年 (1991)	100.0	3.1	17.2	7.8	5.4	3.1	5.1	10.6	21.9	13.3	0.5	1.7	2.7	0.7	6.9
平成4年 (1992)	100.0	3.4	16.7	6.2	4.8	2.4	7.0	12.6	20.5	13.0	0.6	2.8	2.2	0.4	7.4
平成5年 (1993)	100.0	3.3	17.8	8.5	5.0	4.2	6.0	12.6	20.5	9.8	0.7	1.8	2.7	0.5	6.6
平成6年 (1994)	100.0	4.2	18.0	6.8	5.7	2.9	6.4	12.2	20.3	10.3	1.6	1.6	3.1	0.2	6.7
平成7年 (1995)	100.0	3.1	17.0	7.6	5.1	3.4	7.7	12.2	19.6	7.2	3.9	1.6	2.5	0.1	9.0
平成8年 (1996)	100.0	3.5	13.8	6.6	4.5	3.3	8.5	13.7	19.8	7.2	5.1	2.0	2.2	0.5	9.3
平成9年 (1997)	100.0	2.7	14.7	6.9	4.2	3.7	9.0	13.7	19.2	8.1	3.8	1.4	1.5	0.6	10.5
平成10年 (1998)	100.0	3.3	14.8	7.1	4.0	4.0	8.0	14.6	17.6	8.6	4.0	1.8	1.8	0.7	9.7
平成11年 (1999)	100.0	3.7	13.5	5.6	4.6	3.5	7.8	15.3	20.1	6.4	4.0	1.7	1.6	0.6	11.6
平成12年 (2000)	100.0	3.6	13.9	6.2	3.5	3.0	9.3	15.2	17.0	7.5	4.1	1.5	2.1	0.7	12.4
平成13年 (2001)	100.0	5.9	12.6	6.3	4.9	3.0	8.2	15.1	17.0	8.0	3.7	2.3	2.0	0.5	10.5
平成14年 (2002)	100.0	5.2	12.6	6.5	5.4	3.0	9.7	15.3	15.3	6.9	4.3	2.1	2.0	0.5	11.3
平成15年 (2003)	100.0	5.4	11.5	7.2	5.3	2.6	9.6	14.6	14.1	6.9	5.6	2.1	2.2	0.3	12.5
平成16年 (2004)	100.0	6.0	12.5	6.1	5.0	2.8	9.4	13.7	13.6	8.1	5.3	2.4	1.9	0.3	12.9
平成17年 (2005)	100.0	6.3	12.9	6.6	6.6	3.3	9.3	14.3	13.3	6.4	4.6	1.6	1.9	0.2	12.8
平成18年 (2006)	100.0	6.7	13.9	6.6	7.1	2.5	8.8	14.0	13.0	5.3	7.1	2.0	2.4	0.2	10.4
平成19年 (2007)	100.0	6.4	12.5	6.5	6.4	2.6	7.5	14.1	13.9	6.4	5.8	2.1	2.4	0.2	12.9
平成20年 (2008)	100.0	5.6	14.0	6.4	6.2	1.4	6.3	12.0	16.6	7.6	6.3	2.1	1.1	0.4	14.0
平成21年 (2009)	100.0	5.5	10.8	5.7	5.5	2.7	8.9	13.5	15.0	9.2	7.8	1.9	1.2	0.5	11.8
平成22年 (2010)	100.0	6.0	11.5	6.3	5.5	3.2	7.5	13.8	15.1	8.0	7.5	1.7	1.1	0.4	12.4
平成23年 (2011)	100.0	5.8	10.2	5.7	5.1	2.0	8.9	13.7	18.2	7.7	8.6	2.1	1.2	0.5	10.3
平成24年 (2012)	100.0	7.0	11.7	5.7	6.0	2.1	8.9	11.7	16.9	7.4	6.3	1.6	0.9	0.3	13.5
合計	100.0	4.1	19.0	5.1	5.1	2.4	7.5	11.6	17.1	11.0	3.2	1.7	1.7	0.6	9.9

※平成8年までは、ICD9による集計

登録(診断)年次別がん患者の生存数(男女計) 1964-2011

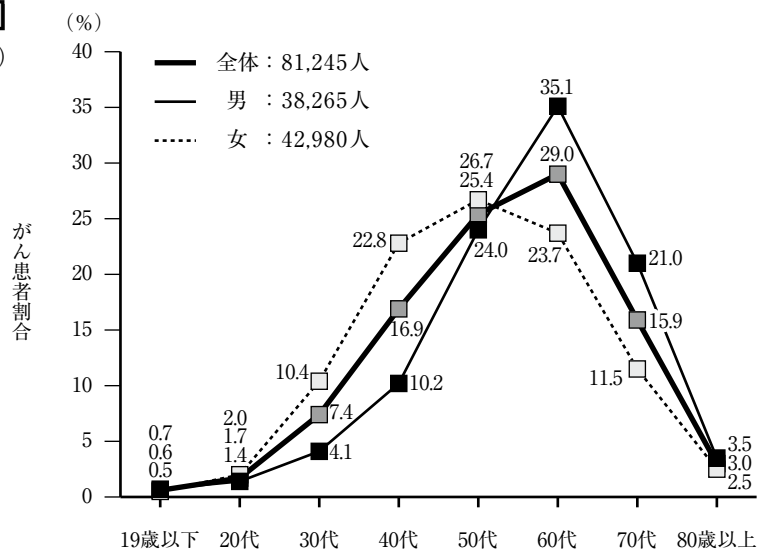
登録(診断)年	症例数	経 過 年 数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年 (1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年 (1965)	1,437	801	637	572	541	508	414
昭和41年 (1966)	1,606	965	764	673	640	613	507
昭和42年 (1967)	1,525	915	708	619	576	551	443
昭和43年 (1968)	1,485	940	746	662	617	582	472
昭和44年 (1969)	1,571	981	788	697	630	593	502
昭和45年 (1970)	1,567	1,019	803	724	671	629	536
昭和46年 (1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	535
昭和47年 (1972)	1,659	1,104	907	820	753	713	593
昭和48年 (1973)	1,497	1,010	844	748	707	667	561
昭和49年 (1974)	1,364	948	769	684	638	597	497
昭和50年 (1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年 (1976)	1,326	924	755	673	636	602	503
昭和52年 (1977)	1,286	908	736	677	630	599	521
昭和53年 (1978)	1,391	979	811	742	689	654	550
昭和54年 (1979)	1,358	985	822	749	701	669	574
昭和55年 (1980)	1,377	1,005	843	775	720	684	582
昭和56年 (1981)	1,363	1,016	856	775	737	692	582
昭和57年 (1982)	1,332	986	845	763	726	698	564
昭和58年 (1983)	1,405	1,048	882	798	734	700	593
昭和59年 (1984)	1,362	1,035	873	792	741	709	602
昭和60年 (1985)	1,482	1,177	1,007	905	841	810	696
昭和61年 (1986)	1,396	1,094	946	857	808	771	648
昭和62年 (1987)	1,384	1,100	948	862	787	749	631
昭和63年 (1988)	1,421	1,140	991	904	856	829	712
平成元年 (1989)	1,261	985	861	800	766	739	624
平成2年 (1990)	1,280	1,041	898	839	796	761	661
平成3年 (1991)	1,262	1,049	917	846	799	760	661
平成4年 (1992)	1,344	1,099	955	887	849	815	698
平成5年 (1993)	1,464	1,193	1,037	941	894	858	726
平成6年 (1994)	1,469	1,206	1,075	993	930	894	767
平成7年 (1995)	1,463	1,190	1,032	935	878	850	718
平成8年 (1996)	1,462	1,201	1,054	947	907	859	729
平成9年 (1997)	1,598	1,336	1,146	1,041	980	940	750
平成10年 (1998)	1,684	1,367	1,198	1,096	1,031	980	768
平成11年 (1999)	1,810	1,470	1,271	1,163	1,099	1,056	976
平成12年 (2000)	1,812	1,492	1,294	1,195	1,118	1,054	969
平成13年 (2001)	1,922	1,557	1,372	1,259	1,176	1,114	997
平成14年 (2002)	2,049	1,682	1,447	1,299	1,222	1,181	1,027
平成15年 (2003)	2,085	1,719	1,485	1,375	1,310	1,278	1,125
平成16年 (2004)	2,162	1,830	1,570	1,440	1,434	1,357	
平成17年 (2005)	2,223	1,849	1,719	1,619	1,613	1,507	
平成18年 (2006)	2,192	2,070	2,024	1,839	1,722	1,617	
平成19年 (2007)	2,359	2,027	1,941	1,836	1,690	1,637	
平成20年 (2008)	2,451	2,114	1,900	1,769	1,678	1,634	
平成21年 (2009)	2,832	2,397	2,130	1,986	1,923		
平成22年 (2010)	2,975	2,561	2,284	2,161			
平成23年 (2011)	2,417	2,321	2,193				

登録(診断)年次別がん患者の実測生存率(%) (男女計) 1964-2011

登録(診断)年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年 (1964)	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年 (1965)	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年 (1966)	60.1	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年 (1967)	60.0	46.4	40.6	37.8	36.1	29.0
昭和43年 (1968)	63.3	50.2	44.6	41.5	39.2	31.8
昭和44年 (1969)	62.4	50.2	44.4	40.1	37.7	32.0
昭和45年 (1970)	65.0	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年 (1971)	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.6
昭和47年 (1972)	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年 (1973)	67.5	56.4	50.0	47.2	44.6	37.5
昭和49年 (1974)	69.5	56.4	50.1	46.8	43.8	36.4
昭和50年 (1975)	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年 (1976)	69.7	56.9	50.8	48.0	45.4	37.9
昭和52年 (1977)	70.6	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年 (1978)	70.4	58.3	53.3	49.5	47.0	39.5
昭和54年 (1979)	72.5	60.5	55.2	51.6	49.3	42.3
昭和55年 (1980)	73.0	61.2	56.3	52.3	49.7	42.3
昭和56年 (1981)	74.5	62.8	56.9	54.1	50.8	42.7
昭和57年 (1982)	74.0	63.4	57.3	54.5	52.4	42.3
昭和58年 (1983)	74.6	62.8	56.8	52.2	49.8	42.2
昭和59年 (1984)	76.0	64.1	58.1	54.4	52.1	44.2
昭和60年 (1985)	79.4	67.9	61.1	56.7	54.7	47.0
昭和61年 (1986)	78.4	67.8	61.4	57.9	55.2	46.4
昭和62年 (1987)	79.5	68.5	62.3	56.9	54.1	45.6
昭和63年 (1988)	80.2	69.7	63.6	60.2	58.3	50.1
平成元年 (1989)	78.1	68.3	63.4	60.7	58.6	49.5
平成2年 (1990)	81.3	70.2	65.5	62.2	59.5	51.6
平成3年 (1991)	83.1	72.7	67.0	63.3	60.2	52.4
平成4年 (1992)	81.8	71.1	66.0	63.2	60.6	51.9
平成5年 (1993)	81.5	70.8	64.3	61.1	58.6	49.6
平成6年 (1994)	82.1	73.2	67.6	63.3	60.9	52.2
平成7年 (1995)	81.3	70.5	63.9	60.0	58.1	49.1
平成8年 (1996)	82.1	72.1	64.8	62.0	58.8	49.9
平成9年 (1997)	83.6	71.7	65.1	61.3	58.8	46.9
平成10年 (1998)	81.2	71.1	65.1	61.2	58.2	45.6
平成11年 (1999)	81.2	70.2	64.3	60.7	58.3	53.9
平成12年 (2000)	82.3	71.4	65.9	61.7	58.2	53.5
平成13年 (2001)	81.0	71.4	65.5	61.2	58.0	51.9
平成14年 (2002)	82.1	70.6	63.4	59.6	57.6	50.1
平成15年 (2003)	82.4	71.2	65.9	62.8	61.3	54.0
平成16年 (2004)	84.6	72.6	66.6	66.3	62.8	
平成17年 (2005)	83.2	77.3	72.8	72.6	67.8	
平成18年 (2006)	94.4	92.3	83.9	78.6	73.8	
平成19年 (2007)	85.9	82.3	77.8	71.6	69.4	
平成20年 (2008)	86.3	77.5	72.2	68.5	66.7	
平成21年 (2009)	84.6	75.2	70.1	67.9		
平成22年 (2010)	86.0	76.8	72.6			
平成23年 (2011)	96.0	90.7				

がん患者 年齢構成図

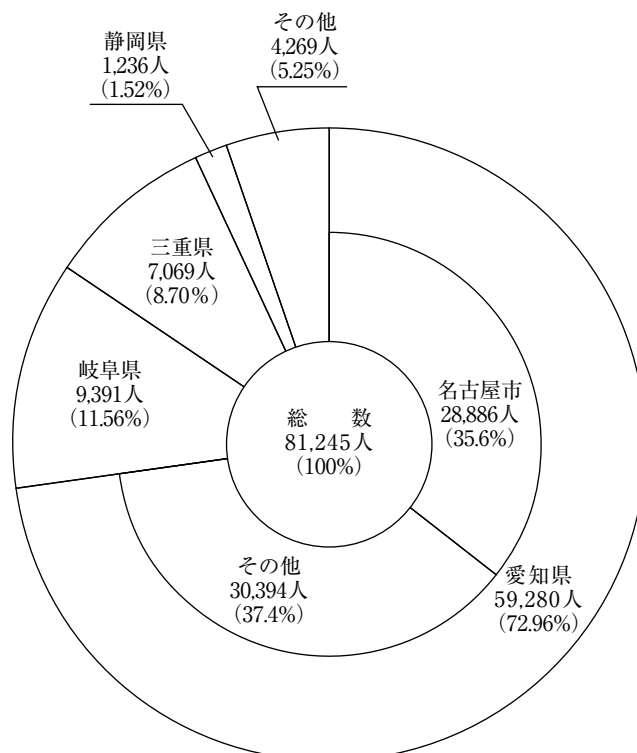
(昭和39年12月～平成24年12月)



		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	276	539	1,584	3,918	9,175	13,420	8,021	1,332	38,265
	%	0.7%	1.4%	4.1%	10.2%	24.0%	35.1%	21.0%	3.5%	100.0%
女	患者数	212	856	4,454	9,783	11,479	10,174	4,933	1,089	42,980
	%	0.5%	2.0%	10.4%	22.8%	26.7%	23.7%	11.5%	2.5%	100.0%
計	患者数	488	1,395	6,038	13,701	20,654	23,594	12,954	2,421	81,245
	%	0.6%	1.7%	7.4%	16.9%	25.4%	29.0%	15.9%	3.0%	100.0%

がん患者 県別分布数

(昭和39年12月～平成24年12月)



レジデント履修状況

区分	総数	消化器内科 コース	呼吸器内科 コース	腫瘍内科・血液 内科コース	頭頸部外科 コース	胸部外科・乳腺科 コース	消化器外科 コース	婦人科・泌尿器・整形 外科・形成外科コース	放射線診断 コース	放射線治療 コース	遺伝子病理 診断コース	麻酔科 コース
61～22年度	904	79	51	33	81	115	110	45	78	290	20	2
23年度	38	6	1	4	4	8	6	2	3	2	2	—
24年度	42	5	1	8	6	8	6	2	2	1	3	—
25年度	50	6	2	10	8	10	6	2	2	2	2	—
総数	1,034	96	55	55	99	141	128	51	85	295	27	2

リサーチレジデント履修状況

区分	総数	疫学・予防学 コース	腫瘍病理学 コース	分子腫瘍学 コース	遺伝子医療研究 コース	腫瘍免疫学 コース	分子病態学 コース	腫瘍ウイルス学 コース	発がん制御研究 コース	臨床研究基礎 コース
13～22年度	81	5	10	5	9	9	9	14	13	7
23年度	13	2	1	1	2	2	—	2	3	—
24年度	11	2	1	3	1	2	—	1	1	—
25年度	16	2	1	4	2	2	1	1	3	—
総数	121	11	13	13	14	15	10	18	20	7

医療技術者研修受入れ状況

区 分	総 数	41～20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総 数	5,369	4,956	105	85	65	81	77
医 師	3,399	3,124	59	70	42	51	53
診 療 放 射 線 技 師	225	222	1	0	1	0	1
臨 床 (衛 生) 検 査 技 師	579	553	8	4	3	7	4
看 護 師	300	288	2	1	3	4	2
そ の 他	866	769	35	10	16	19	17

図書蔵書状況 (受入数－除籍数＝総数)

年度	種類	総 数	単 行 本		専 門 雑 誌	
			洋	和	洋	和
40～22年度受入れ		67,212	11,644	16,721	28,268	10,579
23年度々		1,311	88	741	34	448
24年度々		924	55	569	40	260
25年度々		1,114	78	741	11	284
除 籍 累 計		12,861	3,202	3,648	4,734	1,277
総 数		57,700	8,663	15,124	23,619	10,294

主な備品・設備

備 品 (平成26年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	生化学検査室
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
X線TV装置	平成3年度	DBW-220A型 東芝	1	放射線診断・IVR部
放射線モニタリングシステム	平成3年度	MSR-500 アロカ	1	放射線診断・IVR部
多方向X線撮影装置	※ 平成3年度	VS-20 島津	1	放射線診断・IVR部
超高速再構成演算装置	平成8年度	東芝 CT透視モード	1	放射線診断・IVR部
デジタル画像処理装置	※ 平成10年度	DEP-2000A/AS 東芝メディカル	1	放射線診断・IVR部
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	平成17年度	Aquilion32	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成20年度	GE横河メディカルシステム Singa HDxt3.0T	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
モニター読影入力システム	平成22年度	富士フィルムメディカル 放射線読影レポートシステム F-Report	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	富士フィルムメディカル FUJIFILM DR BENE0	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	日立メディコ CUREVISTA	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE社	1	放射線診断・IVR部
遠隔操作式腔内治療装置	平成12年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトン社	1	放射線治療部
医療用リニアック	※ 平成15年度	CLINAC-21EX バリアンメディカルシステムズ	1	放射線治療部
医療用リニアックセラレータ	平成17年度	Hi-ARTシステム・Tomo Therapy	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	エレクトラ製 Synergy	1	放射線治療部
小線源確認写真撮影装置	平成19年度	Cvision PLUS 島津製作所	1	放射線治療部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝メディカルシステムズ	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	平成23年度	エレクトラ製 MOSAIQ OIS	1	放射線治療部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパスメディカルシステムズ	1	内視鏡部
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
医局システム机	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	医局
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	腫瘍医化学部
動物飼育設備	平成11年度	ダイダマン	1	中央実験室
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	中央実験室
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンデッキンソン	1	中央実験室
質量分析システム	平成22年度	エービー・サイエックス製4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	共通実験室

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (平成26年4月1日現在)

設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電気設備	特 高 受 電 用 変 圧 器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチラー	4		高 圧 配 電 用 変 圧 器	49		真空ポンプ (吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非 常 用 発 電 機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫 流 ボ イ ラ ー	3		常 用 発 電 機 (コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷 温 水 発 生 器	5		常 用 発 電 機 (小水力)	1			
	空 調 機	118		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322		昇 降 機	19			

病院業務 (平成26年 4月 1日現在)

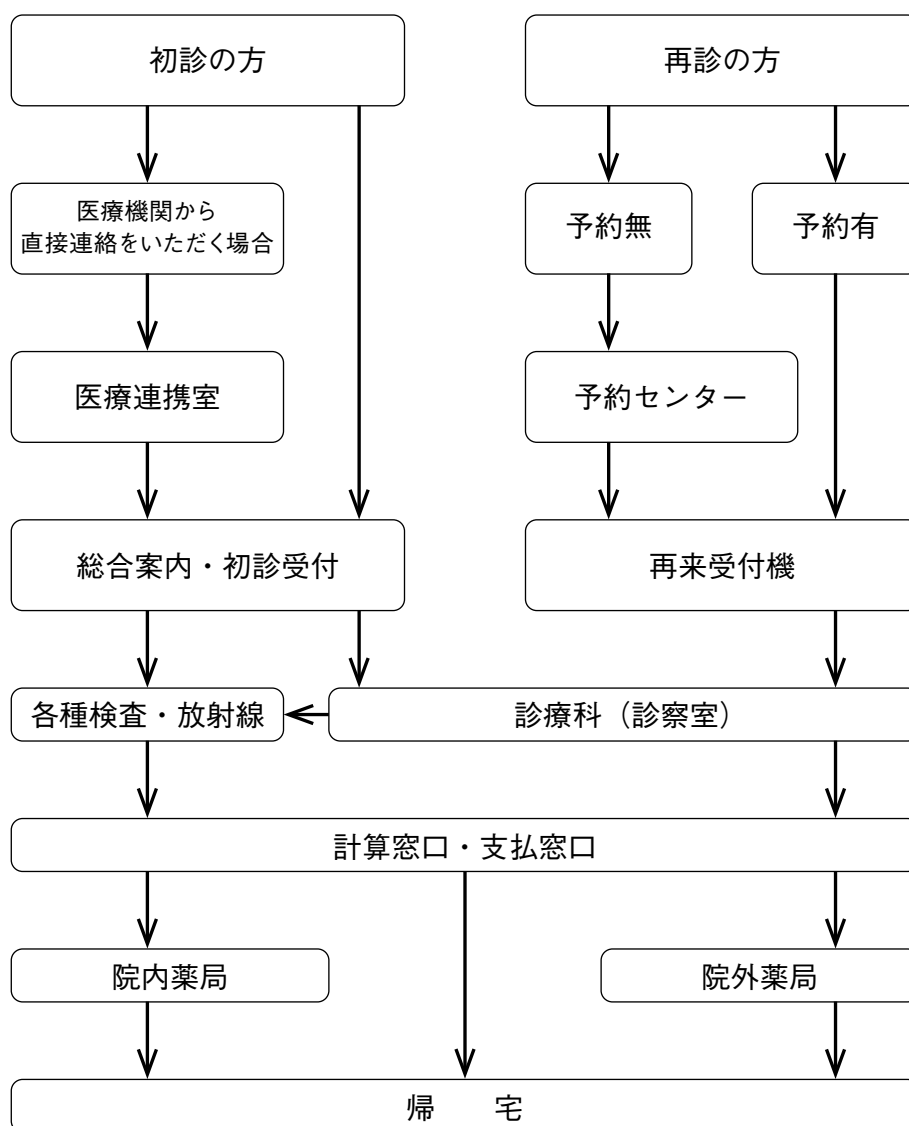
中央病院の特色

- (1) がんに対する診断・治療と研究が一体となった理想的な基幹病院とする。
- (2) 手術・放射線・臨床検査・化学療法部門の機能を一体化し、集学化を図る。
- (3) 国内外の医療関係者との技術交流を行い、医学の国際交流を推進する。
- (4) 先進医療実施病院として、常に高度な治療を目指す。
- (5) 都道府県がん診療連携拠点病院として、本県の中心的ながん診療機能を担うとともに、医療従事者の研修、地域がん診療連携拠点病院の支援を行う。

診療科目 消化器内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科 計23診療科

病床数 500床

外来診療の流れ



外来患者状況

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
診 療 日 数	242	243	244	245	244
初 診 患 者 数	6,193	5,557	5,481	5,548	5,468
患 者 延 数	154,001	149,769	149,626	150,654	154,951
1 日 平 均 患 者 数	636.4	616.3	613.2	614.9	635.0
平 均 通 院 回 数	24.9	27.0	27.3	27.2	28.3
紹 介 患 者 比 率	78.9	80.9	84.2	87.1	90.6
外来化学療法件数 ^(注)	20,577	19,452	20,817	21,011	21,762

(注) 平成20年度以降、治験件数を含む。

入院患者状況

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
患 者 総 数	総 数	10,175	10,020	9,854	9,800	9,599
	繰 越	375	396	336	325	316
	新入院	9,800	9,624	9,518	9,475	9,283
退 院 患 者 数	総 数	9,789	9,594	9,609	9,456	9,300
	死 亡	442	455	468	395	434
	その他	9,347	9,139	9,141	9,061	8,866
患 者 延 数		154,884	154,352	150,036	149,650	144,191
1 日 平 均 患 者 数		424.3	422.9	409.9	410.0	395.0
平 均 在 院 日 数		14.8	15.1	14.7	14.8	14.5
病 床 利 用 率		89.7	89.4	86.7	86.7	83.5
病 床 回 転 率		24.6	24.2	24.9	24.6	25.1
死 亡 率		4.5	4.7	4.9	4.2	4.7

住所地別患者数

区 分	住 所 地	22年度		23年度		24年度		25年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 初 診 数	愛 知 県	4,229	76.1%	4,171	76.1%	4,205	75.8%	3,978	72.8%
	名古屋市	2,256	40.6%	2,203	40.2%	2,125	38.3%	1,896	34.7%
	その他	1,973	35.5%	1,967	35.9%	2,080	37.5%	2,082	38.1%
	県 外	1,328	23.9%	1,310	23.9%	1,343	24.2%	1,490	27.2%
	総 数	5,557	100.0%	5,481	100.0%	5,548	100.0%	5,468	100.0%
新 入 院 数	愛 知 県	7,247	75.3%	7,024	73.8%	6,735	71.1%	6,749	72.7%
	名古屋市	3,479	36.1%	3,350	35.2%	3,358	35.4%	3,112	33.5%
	その他	3,768	39.2%	3,674	38.6%	3,377	35.7%	3,637	39.2%
	県 外	2,377	24.7%	2,494	26.2%	2,740	28.9%	2,534	27.3%
	総 数	9,624	100.0%	9,518	100.0%	9,475	100.0%	9,283	100.0%

患者給食実施状況

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
入院患者延数	154,884	154,352	150,036	149,650	144,191	
給食数 (配膳延人数)	総数	115,668	121,252	116,994	125,746	111,116
	一般食	97,493	101,263	93,428	89,836	84,038
	特別食	18,175	19,989	23,566	35,910	27,078
給食率	74.7	78.6	78.0	84.0	77.1	

放射線照射回数(診断－直接撮影件数)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総数	46,299	45,001	44,232	44,832	44,858
単純撮影	40,378	39,035	38,309	38,776	38,906
造影撮影	4,979	4,988	4,787	4,844	4,515
特殊撮影	942	978	1,136	1,212	1,437

アイソトープ検査件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総数	1,235	1,159	1,052	1,060	958
シンチスキャン	935	840	721	714	630
センチネルリンパ	285	308	327	337	326
動態計測	15	11	4	9	2

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

コンピュータ断層撮影 (CT) 件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総件数	14,870	14,861	15,294	16,020	17,060

超音波断層撮影件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
総数	5,009	3,595	3,621	3,337	3,499	
部位別	甲状腺	948	588	659	311	293
	乳腺	836	775	682	619	681
	腹部	1,721	1,681	1,886	2,141	2,140
	その他	1,504	551	394	266	385

(注) 放射線診断部・I V R部 超音波検査室における超音波検査件数。

診察室における超音波検査件数は各診療科検査実績参照。

(平成21年度までは全て超音波検査室で実施)

MRI件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総 数	3,424	3,577	3,610	3,887	3,946

放射線照射回数（治療）

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
総 数	59,864	60,995	57,324	55,448	54,360	
放射線治療計画策定件数	1,382	1,384	1,402	1,240	1,496	
放射性物質	R A L S	85	95	58	52	51
	小 線 源	23	19	26	20	12
そ の 他	リ ニ ア ッ ク	57,114	58,320	54,732	53,093	51,685
	C T	1,067	981	902	960	1,041
	シミュレーター	193	196	204	83	75

一般臨床検査件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
総 数	2,829,683	2,791,468	2,831,987	2,952,465	3,082,084	
尿 検 査	27,821	27,733	27,213	27,237	27,194	
糞 便 検 査	720	747	641	584	532	
血液学的検査	923,171	902,890	897,307	927,277	967,033	
生化学的検査	1,470,775	1,453,125	1,484,230	1,561,538	1,636,016	
細菌学的検査 （監視培養検査）	15,067 (662)	16,309 (905)	16,784 (1,008)	20,066 (996)	21,429 (1,563)	
血清学的検査 （アイソトープ使用検査）	190,445 (1,414)	193,101 (1,740)	203,495 ※(733)	212,646 0	220,594 0	
病理組織検査	8,389	8,303	8,484	8,549	8,695	
癌遺伝子検査	1,547	1,580	1,878	1,986	2,191	
細胞学的検査	7,568	7,345	7,267	7,117	7,329	
血液ガス検査	3,933	3,699	4,066	4,261	4,141	
その他	採血業務	176,977	173,633	177,366	178,132	185,224
	治験処理等	3,270	3,003	3,256	3,072	1,706

(注) () 内は再掲。

※平成23年9月よりR I検査中止→外注委託

機能検査件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総 数	16,338	16,513	17,734	18,434	19,306
心 電 図 検 査	3,685	3,871	4,377	4,700	4,689
負 荷 心 電 図 検 査	1,908	1,864	1,876	1,927	2,026
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	696	705	839	807	811
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	359	381	412	267	247
心 臓 超 音 波 検 査	2,041	2,221	2,446	2,721	2,652
肺 機 能 検 査	6,645	6,569	6,868	7,139	7,913
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	84	81	89	67	123
聴 力 検 査	119	102	162	177	144
眼 科 検 査	0	0	0	0	0
乳 腺 超 音 波 検 査	796	719	665	629	701
骨 塩 定 量 検 査	0	0	0	0	0
そ の 他 検 査	5	0	0	0	0

(注) その他の検査はバクトル心電図検査、心音図検査、心拍出量検査、脳波検査を含む。

(注) 眼科検査は、以前実施していた検査を看護師が実施することになり、著減しました。

部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	23年度			24年度			25年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	2,780,884	2,760,628	20,256	2,887,743	2,866,596	21,147	2,994,636	2,971,697	22,939
一 般 検 査	115,536	115,514	22	116,962	116,920	42	113,318	113,290	28
血 液 検 査	626,175	625,269	906	642,082	641,169	913	656,885	656,047	838
免 疫 血 清 検 査	104,643	98,494	6,149	113,895	109,033	4,862	113,229	108,289	4,940
生 化 学 検 査	1,607,765	1,595,837	11,928	1,678,754	1,664,662	14,092	1,761,900	1,746,161	15,739
微 生 物 検 査	32,875	31,713	1,162	40,054	38,883	1,171	43,783	42,512	1,271
病 理 細 胞 診 検 査	95,179	95,179	0	96,688	96,688	0	98,812	98,812	0
生 理 検 査	17,735	17,646	89	18,434	18,367	67	19,306	19,183	123
そ の 他 の 検 査	180,976	180,976	0	180,874	180,874	0	187,403	187,403	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

(注) 病理細胞診検査については、①②の理由により減少しました。

①写真撮影のデジタル化により、前年度以前との正確な比較が不能となったため、写真撮影枚数を加えなくなった。

②新システム導入により、手術件数の積算方法が変わった。

内視鏡検査件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総 数	9,000	8,849	8,835	8,986	9,352
上 部 消 化 管	4,779	4,820	4,995	5,034	5,421
下 部 消 化 管	2,800	2,627	2,246	2,191	2,311
気 管 支	151	159	177	162	214
膵胆管造影(ERCP)	415	422	407	497	358
超音波内視鏡(EUS)	583	555	694	759	684
超音波内視鏡下穿刺生検(EUS-FNAB)	272	266	316	343	364

内視鏡治療件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総 数	905	913	1,010	1,043	1,086
食 道 E M R	44	61	48	64	74
胃 E M R	91	82	92	93	86
大腸EMR、ポリペク	355	302	359	347	312
食道狭窄拡張術	203	218	285	250	251
胆道ステント留置術	166	183	139	153	245
乳頭切開術、胆道碎石術	46	67	87	136	118

手術件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総 数	2,663	2,637	2,720	2,750	2,792
頭 頸 部 外 科	477	438	517	506	527
胸 部 外 科	357	357			
呼 吸 器 外 科			277	275	309
乳 腺 科	409	416	441	477	497
消 化 器 外 科	703	730	793	803	805
婦 人 科	310	300	273	320	283
泌 尿 器 科	191	175	165	163	164
整 形 外 科	128	130	146	122	116
形 成 外 科	79	76	88	68	75
そ の 他	9	15	20	16	16

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。
 ※平成23年度から呼吸器外科の〈食道〉については消化器外科に含む。

主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	23年度	24年度	25年度	部 位	23年度	24年度	25年度	
頭 頸 部 が ん	455	439	422	子 宮 が ん	頸がん	122	132	122
食 道 が ん	71	67	80		体がん	54	41	46
肺 が ん	204	192	220	卵 巢 が ん		32	45	39
乳 が ん	405	445	482	前 立 腺 が ん		42	36	28
胃 が ん	211	212	231	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍		47	34	30
大 腸 が ん	350	328	332	I V R		1,828	1,877	1,757
肝 ・ 胆 が ん	77	64	62	造 血 幹 細 胞 移 植	同 種	4	1	1
膵 臓 が ん	59	68	63		自 家	11	8	4

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

薬剤業務状況

区 分			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
			総数	総数	総数	総数	総数
処 方	枚 数	総 数	75,118	75,173	76,266	79,640	79,780
		外 来	9,211	8,574	9,358	9,113	7,119
		入 院	65,907	66,599	66,908	70,527	72,661
方	剤 数	総 数	135,593	137,542	140,961	149,509	151,409
		外 来	21,882	19,499	21,893	22,914	22,380
		入 院	113,711	118,043	119,068	126,595	129,029
方	延 剤 数	総 数	1,374,632	1,086,309	1,134,997	1,202,562	1,234,068
		外 来	399,375	292,969	343,264	365,789	358,720
		入 院	975,257	793,340	791,733	836,773	875,348
治 験 処 方 枚 数		総 数	836	1,002	846	733	1,208
		外 来	779	859	810	710	1,080
		入 院	57	143	36	23	128
注 射	枚 数 (患者人数)	総 数	110,407	104,899	106,864	109,355	104,775
		外 来	22,239	22,330	24,094	25,602	26,265
		入 院	88,168	82,569	82,770	83,753	78,510
射	剤 数	総 数	519,211	478,858	502,783	519,482	469,546
		外 来	68,023	64,344	70,652	77,389	78,584
		入 院	451,188	414,514	432,131	442,093	390,962
薬 剤 管 理 指 導 数		人 数	1,912	2,397	2,805	4,535	6,134
		算 定 件 数	2,018	2,640	3,142	5,574	7,762
* 1 外 来 抗 がん 剤 調 製 数	件 数 (患 者 数)	14,475	14,453	15,510	16,632	16,865	
	剤 数	22,766	21,888	24,058	25,722	26,121	
* 2 外 来 抗 がん 剤 調 製 数 (治 験)	件 数 (患 者 数)	1,315	685	1,220	1,112	1,510	
	剤 数	1,706	888	1,695	1,581	1,971	
* 3 入 院 抗 がん 剤 調 製 数 (治 験 を 含 む)	件 数 (患 者 数)	2,351	8,844	9,189	9,355	8,187	
	剤 数	3,286	11,866	12,536	12,477	10,896	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数			6,916	8,237	7,590	8,405	8,495
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数			13,232	16,107	19,086	18,901	18,392
T D M 実 施 件 数			59	62	89	110	183

* 1 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上

* 2 外来抗がん剤調製数（治験）は、薬剤師が調製した分のみを計上（平成19年度から集計）

* 3 入院抗がん剤調製数（治験を含む）は、薬剤師が調製した分のみを計上（平成20年度から集計）

院外処方せん交付状況（平成25年度）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処 方 せ ん 総 枚 数	4,491	4,187	3,816	4,270	4,038	4,081	4,422	4,087	4,244	4,109	3,964	4,133	49,842
院 内 処 方 せ ん 枚 数 (外 来)	582	581	483	605	564	607	673	599	621	637	589	578	7,119
院 外 処 方 せ ん 枚 数	3,909	3,606	3,333	3,665	3,474	3,474	3,749	3,488	3,623	3,472	3,375	3,555	42,723
比 率 (院 外 処 方 せ ん 枚 数 / 処 方 せ ん 総 枚 数) %	87.0%	86.1%	87.3%	85.8%	86.0%	85.1%	84.8%	85.3%	85.4%	84.5%	85.1%	86.0%	85.7%

平成9年12月2日からオーダーリングシステムによる院外処方せんの交付を開始し、平成10年8月から原則的に全面交付

血液使用状況

1. 血液使用量

(単位)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
自 己 血 液	385	325	288	312	417
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 製 剤	2	16	58	24	34
赤 血 球 濃 厚 液	5,578	5,396	5,590	5,032	4,346
凍 結 血 漿	934	684	1,259	1,324	703
血 小 板	16,565	15,395	13,100	14,090	9,650
そ の 他	0	0	0	0	0

2. 検査件数

(単位：件)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
ク ロ ス マ ッ チ	3,425	3,195	3,299	2,938	2,632
血 液 型 (A B O)	3,314	3,554	3,656	3,692	6,691
R H 因 子	3,314	3,554	3,656	3,692	6,691
間 接 ク ー ム ス 試 験	9,616	9,198	9,576	9,124	2,879
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	6,181	5,981	6,259	6,162	6,073
直 接 ク ー ム ス 試 験	17	27	19	23	34

(注) ・全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

・直接クーモス試験は平成9年度より、臨床検査部から血液管理部へ移管。

・血液型 (A B O) 、 R H 因 子 、 間 接 ク ー ム ス 試 験 に つ い て は 平 成 2 5 年 度 よ り 集 計 方 法 を 変 更 し た 。

治験等実施件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
治 験	90	108	117	120	135
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	13	16	13	11	8
製 販 後 使 用 成 績 調 査	39	32	31	28	24
そ の 他	9	2	2	3	2
合 計	151	158	163	162	169
(新 規 依 頼 分)	(60)	(47)	(44)	(39)	(58)
医 師 主 導 治 験	2	2	5	7	7

臨床試験実施件数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
登 録 中 の 臨 床 試 験	37	42	53	59	74
う ち 先 進 医 療 B に 基 づく も の	0	0	0	3	3
追 跡 調 査 中 の 臨 床 試 験	29	36	51	47	63
合 計	66	78	104	109	140

死体解剖数

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
死 亡 患 者 数	442	455	470	395	434
解 剖 数	11	5	18	6	6
解 剖 率	2.5	1.1	3.8	1.5	1.4

研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんの研究機関としての研究業務も設置目的に含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎医学的研究と相まって、当センターの機能を発揮しているが、その研究態勢は、

- (1) 研究所における部別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 病院・研究所両部門による共同研究
- (4) プロジェクト研究

の4態勢で実施されている。平成26年度における研究課題は、次のとおりである。

研究所における部別研究課題

- | | |
|----------|---|
| 疫学・予防部 | <ol style="list-style-type: none">1 がん対策の企画・評価に必要な地域がん登録の資料を活用した、がんの流行と転帰の分析研究2 がんの環境要因、宿主要因、および両者の交互作用を解明するための病院疫学研究3 「健康日本21あいち」に基づく愛知県民のためのがん予防啓発技術の開発研究4 がん治療の長期予後（効果）に影響する要因の分析 |
| 腫瘍病理学部 | <ol style="list-style-type: none">1 難治性がん（難治性消化器がん、呼吸器がん、血液系・神経系腫瘍など）の分子病理学的特徴解析の研究2 難治性がんに対する分子治療学的技術開発の基盤研究3 胃がん・大腸がん発生・増殖進展・転移の分子機序の研究4 病理剖検症例の病理組織学的研究 |
| 分子腫瘍学部 | <ol style="list-style-type: none">1 肺がんの発症・進展機序の解明と分子標的療法の探索2 中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究 |
| 遺伝子医療研究部 | <ol style="list-style-type: none">1 造血器腫瘍発症機構の分子生物学的研究及び診断治療への応用2 造血器細胞の分化、増殖に関与する遺伝子の血清学的、分子生物学的研究 |
| 腫瘍免疫学部 | <ol style="list-style-type: none">1 腫瘍抗原の免疫学的、分子生物学的検索2 免疫診断及び免疫治療の前臨床的及び臨床的研究 |
| 感染腫瘍学部 | <ol style="list-style-type: none">1 ヒトがんウイルスの増殖と宿主細胞応答の解析2 遺伝子組み換えウイルスを用いた発がん研究 |

- 分子病態学部
- 1 マウスモデルを用いた大腸がんの発生・転移に寄与するシグナル経路と腫瘍微小環境の研究
 - 2 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築
 - 3 遺伝子改変による難治性がんマウスモデルの作出
- 腫瘍医化学部
- 1 がん細胞周期における新規キナーゼカスケイド
 - 2 新しい中心体及び細胞間接着制御因子群の機能解析
 - 3 部位特異的リン酸化ペプチド抗体の進化
 - 4 がん細胞の細胞骨格・増殖にかかわる遺伝子の遺伝子改変マウスの作製
- 中央実験室
- 1 食道がん、頭頸部腫瘍の分子遺伝学的研究

病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法の選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 骨軟部肉腫進行例に対する治療法の研究
- 5 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 6 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

病院・研究所両部門による共同研究課題

- 1 肺癌、中皮腫細胞の解析と診断、治療法への応用
- 2 機能温存を目指す頭頸部癌の外科治療

プロジェクト研究課題

公募予定

特許の状況

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
発 明 件 数		6	7	6	2	5
登 録 件 数	年 度 当 初	7	11	15	19	27
	新 規	4	4	4	8	5
	権 利 消 滅	0	0	0	0	0
	年 度 末	11	15	19	27	32
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	6	7	6	5	5
	新 規	2	0	0	0	1
	満 了 ・ 解 約	1	1	1	0	0
	年 度 末	7	6	5	5	6

研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

21年	22年	23年	24年	25年
113	109	99	109	82

類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	埼玉県	千葉県	静岡県	兵庫県	宮城県	神奈川県	
	がん センター 中央病院		がん センター	がん センター	静岡がん センター	がん センター	がん センター (独立行政法人)	がん センター (独立行政法人)	
事業開始年月	S39.12.1		S50.11.1	S47.11.1	H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S38.4.15	
病床数	500	2	400	341	569	400	383	415	
※稼働状況	病床利用率 (%)	82.0	4	84.2	83.5	89.4	81.8	73.0	77.8
	平均在院日数 (日)	14.8	6	14.7	11.9	12.3	14.2	17.7	14.0
	1日平均外来患者数 (人)	615	5	777	489	1,000	629	324	724
収益状況	入院患者1人1日 当たり診療収入 (円)	54,548	6	57,375	61,768	61,020	58,729	50,726	62,703
	外来患者1人1日 当たり診療収入 (円)	30,910	4	24,039	31,532	31,714	33,450	24,732	21,868
※繰入金の状況	1病床当たり一 般会計繰入金額 (千円)	5,066	2	5,771	7,863	10,324	2,494	5,245	5,804
	一般会計繰入 金対経常収益 (%)	15.2	2	15.9	18.9	22.4	7.4	21.2	17.1
※経営状況	経常収支比率 (%)	104.9	4	100.5	110.6	103.1	104.0	105.3	107.9
	医業収支比率 (%)	95.0	4	87.3	90.9	84.9	98.6	108.3	107.9
	修正医業収支比率 (%)	87.9	4	87.2	90.9	84.6	98.6	86.4	89.7
	職員給与費対医業収益 (%)	46.4	4	54.7	51.3	41.7	48.4	45.3	43.3
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△3,503	2	△5,591	△3,874	△9,248	△1,201	△3,996	△3,533
	病床1床当たり 純利益 (△) 純損失 (千円)	1,563	3	180	3,989	1,077	1,293	1,249	2,272
	病床1床当たり 概算キャッシュフロー発生額 (千円)	3,200	4	2,768	5,876	5,587	2,139	3,125	3,849

注1 数値は「平成24年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による

- ・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金)／医業費用×100
- ・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△)純損失－他会計繰入金)／許可病床数
- ・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△)純損失＋減価償却費＋資産減耗費＋繰延勘定償却)／許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

外来診療案内

(平成26年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診療科	診療内容	診察日
消化器内科	消化器系統	月～金
呼吸器内科	呼吸器系統	月～金
循環器科	循環器疾患	月・木
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金
薬物療法科	造血器・その他	月～金
頭頸部外科	耳鼻咽喉・甲状腺	月～金
形成外科		月・火・水・木
呼吸器外科	肺疾患	火・水・木・金
乳腺科	乳腺疾患	月～金
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金
整形外科	整形外科疾患	月・火・水・金
脳神経外科	脳神経疾患	火・水
泌尿器科	泌尿器疾患	月・水・金
婦人科	婦人科疾患	月～金
皮膚科	皮膚疾患	水
眼科	眼科疾患	金
放射線診断・IVR科	放射線診断・その他	月・水・木・金
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金
緩和ケア科	精神腫瘍科	月～金
	緩和ケア	月～金
	ペインクリニック	水
	リンパ浮腫	月

※1 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)

※2 精神腫瘍科は、予約のみの対応です。

入院案内

(平成26年4月1日現在)

◆ 入院の申込み

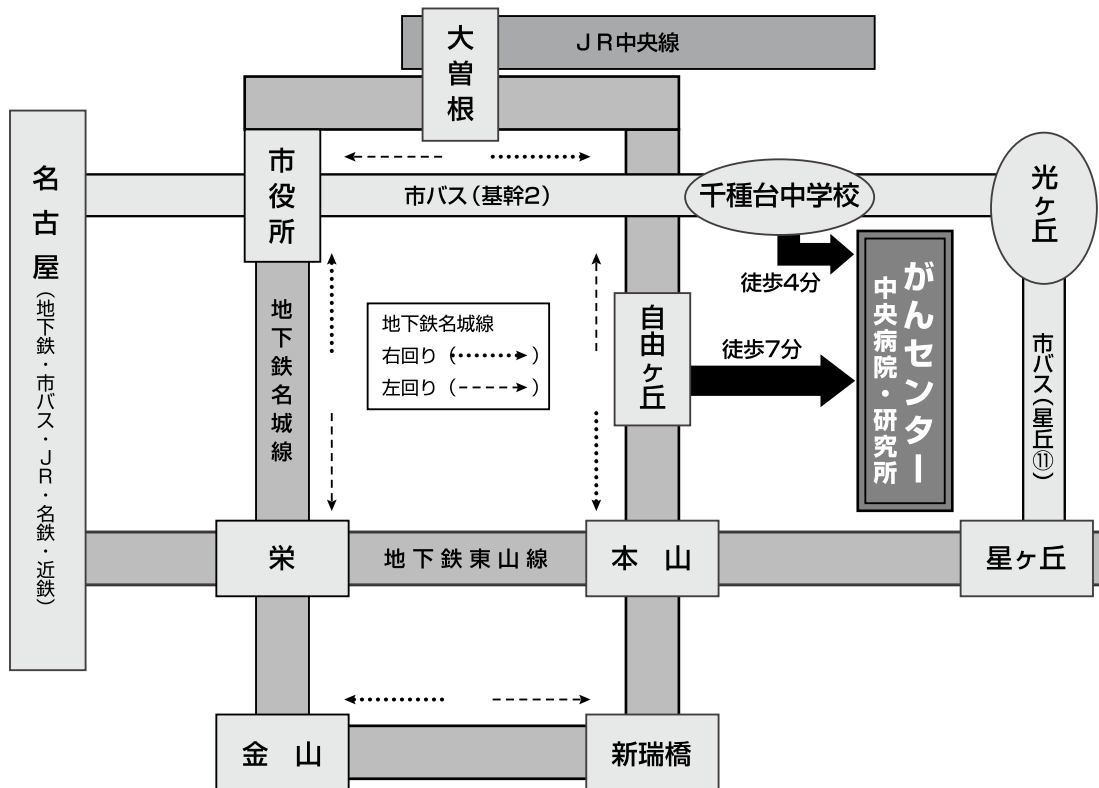
- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
- 3 特別室(個室)に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。
なお、特別室(個室)を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

区 分	A室	B室	C室	D室
室 料 (1日につき)	27,770円	13,370円	9,250円	7,200円

◆ 面 会

- 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります。
月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで
土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
- 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
 - (1) 面会のときは、看護師に申し出てください。
 - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないよう中央デールーム(面会室)をご利用ください。
 - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
 - (4) 構内は禁煙になっています。
 - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんに迷惑のかからないようお願いします。

交通案内



地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曽根・栄から【所要時間：大曽根から約20分】名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約35分】名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

市バス利用 「千種台中学校」から徒歩4分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約20分】
星丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

自家用車利用 本山交差点から北へ5分、平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋ICより、名古屋長久手線（60号線）を西（星ヶ丘方面）へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約10分
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療器機の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター中央病院・研究所概要
平成26年度

平成26年5月発行

発行所 愛知県がんセンター

名古屋市千種区鹿子殿1番1号

電話 052-762-6111 (〒464-8681)

Home Page : <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印刷 株式会社日誠堂

稲沢市片原一色町大山52番地 (〒492-8355)

電話 0587-36-0335 FAX 0587-36-3480

50th
anniversary



愛知県がんセンター
Aichi Cancer Center